

令和三年度\*  
民間園長研修会WEB  
日時 令和三年十一月五日(金)

今年度の民間園長研修会は、『保育の魅力を発信し、保育者の活躍を導くためにVUCA時代に求められるリーダーシップ』というテーマのもと、ZOOM会議にて実施されました。



開講式では、土山会長より園の増加による待機児童解消と過疎少子化問題により、地域によっては定員割れを起こす保育園が増えており、保育サービスの在り方について地域別に再考する必要性が生じてきたことなど、状況情報をお話して頂きました。

【講義①】『保育行政の動向について』

静岡県健康福祉部 ことも未来課長

鈴木 安田美氏



鈴木氏のお話では、静岡県の合計特殊出生率と出生数の年次推移において、近年更に少子化が加速する傾向にあり、ここ三年間で四千人も出生数が減少しました。これはたった三年間で各小学校が五クラスから四クラスに減

少する勢いだということです。

静岡県としてはこれらの結果を受け、より一層子ども・子育て支援を充実させていく予定です。また元々減少傾向にあった婚姻数について、令和二年度には更に著しい減少が見られ、少子化対策には結婚支援が必要であると判断し出会いの機会の提供・結婚支援などもスタートするとのことでした。

その他にも、男性の育児休業の取得促進、仕事と子育ての両立支援、保育人材の確保対策を実施していき、社会全体で未来を担う子どもと子育て家庭を応援していく方針をお話頂きました。

【講義②】『保育施設に存在するリスクとその備え』

社会保険労務士法人ゆびすい労務センター

名古屋支店長 山口 征司 氏

私の若かった頃は有休なんて取得できなかった、あなたたちはいいわよね。これは、あなたの為を思って言っているのですよ…。つい、管理者として日常の中で部下に対して言



ってしまいう言葉の中にハラズメントが存在すると山口氏のお話が始まり、各種ハラズメントの定義を正しく理解すること、自園の各規程に追加すべき事項、新たに作成すべき規程を明確にするこ

とを目標に、現代の法改正に合わせたハラズメントの定義・防止対策に対する認識を高め、同一労働同一賃金への対応、法人内で使用している給与規定や就業規則が法改正に準拠しているかについての判断を分かり易く解説してくださいました。

【講義③】『質の向上を目指す保育マネジメントトライ&エラーを職員の資質向上につなげるには』

玉川大学 准教授 田澤 里喜氏



変化を恐れるリーダー組織はいずれ衰退していく。しかし、何らかの挑戦には失敗が伴う。先代から引継いだ幼稚園運営の中で、子ども主体の保育を実践していく為に日々トライアンドエラーを繰り返しつつ、保育の質を向上されてきた田澤氏の実践例を詳しくお話頂きました。

(保護者)「この幼稚園、詐欺ですよね」、(先代園長)「おまえはオレを否定するのか!」、園児数の減少、園の評価サイトへの心ない書込み、変化に合わせて痛みを伴い、それらの壁により職員間の意識を共有することの大切さや、保護者に対する発信の重要性、理解してくれる保護者を大切に理解してくれない保護者には対話の継続を諦めないこと、などに気づき前進し続けていく姿を生々しくお話頂きました。